

鷹巣農林高校創立
100周年記念

佐藤鉄章原作の映画を上映

北秋田が舞台 ―― 久我美子・高倉健主演「季節風の彼方に」

県立鷹巣農林高校などで教鞭を執った作家・佐藤鉄章（一九一四―一九九一）原作による映画「季節風の彼方に」の上映会が11月26日、市文化会館で開かれ、同校の生徒や映画ファンが戦後まもない北秋田地方の山村の現実を描いた映画を鑑賞しました。

＊ ＊

上映会は、今年学校創立百周年を迎えた鷹巣農林高校（佐藤英樹校長、生徒数266人）が、教員OBである佐藤鉄章氏の業績を偲ぶとともに、同校ゆかりの映画を地域の人々に見てもらいたいと、記念に開催したものです。



51年ぶりに上映された、佐藤鉄章原作による東映映画「季節風の彼方に」

■苦学して教師に

佐藤鉄章は大正三年北秋田郡十二所町（現大館市）生まれ。本名は有次郎。家が貧しかったことから成章尋常高等小学校卒業後、長野、東京などで生活、帰郷後、苦学しながら教員検定試験に合格します。

昭和12から17年まで旧竜森小学校の教師を務めます。18年から22年まで花輪高等女学校（現花輪高校）に在職しますが、この間、19年に徴兵され大陸戦線に従軍。捕虜生活を終えて昭和21年に復員します。戦後は、鷹巣農林、大館鳳鳴、大館桂各高校の教諭を歴任、その後上京し作家生活に専念します。

鷹巣農林高校には昭和22年から30年まで在職、教職の傍ら同人誌「北方文芸」「奥羽文学」などを主宰し、文芸活動を展開しています。昭和30年には「季節風の彼方に」を自費出版。後に新潮社から出版され、33年には関川秀雄監督、久我美子、高倉健主演で映画化されました。このほか、主な作品に「断崖」「若い魂」（岸恵子主演でTVドラマ化）「召集兵」「ある高校生の冬山遭難」「卑弥呼新考」などがあります。



鷹農OBの俳優・相馬剛三氏も教師役で出演（右。中央が高倉健）。方言指導も行った。

■「米代高校」として登場：鷹農高

映画は封切当時、鷹巣では現在の銀座通り商店街にあった民映で、大館では東映第一劇場などで上映され、大きな話題になりました。今回の上映のためフィルムを探したところ、制作・配給元だった東映本社には存在せず、伝手をたどり、ようやく16mm版として残っていたものを見つけ出したもので、製作から51年ぶりの再上映となりました。上映会では、生徒会長の嶺脇義和君（3年）が、「映画の原作を書かれた佐藤先生が本校で教鞭を執っていたことは大きな誇り。ぜひ最後まで楽しんでほしい」とあいさつ、映画が始まりました。

ストーリーは、久我美子演ずる主人公・那村文江が、山深い「深沢村」で、男性教師との愛に悩みながらもへき地教育に情熱を傾ける姿を通

し、貧しく古い因習が残る山村社会の現状を描きます。原作は、鉄章が竜森小や鷹農教師時代の体験を元に書いたもので鷹農高がモデルの「米代高校」や、旧国鉄阿仁合線とされる鉄道、深沢村や畠山、橋本姓の生徒など七日市地区を思わせる地名や人名も多数登場します。

■鷹農OBの俳優・相馬剛三氏も出演

映画化にあたっては、当初鷹巣周辺でロケが行われる予定でしたが、冬のシーン撮影のための雪が少なく、やむなく新潟で行われました。しかし、当地方の雰囲気とよく似た山間の村の姿や、木造の中学校、蒸気機関車、炭の運搬風景などが現れると、当時を知る人も懐かしそうに見入っていました。また、名脇役として知られている鷹巣農林高校OBの俳優・相馬剛三さん（故人）も同僚教師役で登場、後につなげる重要な役どころをこなしていました。

映画を見た同校2年の齊藤雅哉君は、「母校の偉大な先生の作品を見て感動した。子どもたちが炭運びで図書購入の資金を得る場面や、営林署の係官に労働基準法などについて尋ねる場面も印象的だった」と感想を述べていました。

イギリスのストーンサークルに興味しんしん

鷹巣小児童とサイモン・ケイナーさんとの交流会

イギリス人の考古学研究者、サイモン・ケイナーさんと鷹巣小学校児童との交流会が12月18日、同小で行われ、児童らがサイモンさんの講話を通し、イギリスの世界遺産遺跡・ストーンヘンジや伊勢堂岱遺跡との類似点などについて学びました。

サイモンさんは考古学（先史時代）の研究者で現在イギリス・セインズベリー日本芸術研究所副所長。國學院大學の客員教授なども務め、国外の縄文文化研究者としては第一人者として知られています。

サイモンさんは日本留学の経験もあり、日本語に堪能。交流会では、サイモンさんが世界的に有名なストーンヘ

ンジについて、「約5千年も前の先史時代に作られた遺跡で伊勢堂岱遺跡と同じストーンサークルだが、使われている石はとても大きい。一つの石だけで平均で象40頭分もの重さ」と紹介すると、児童たちはとても驚いていた様子でした。

また、サイモンさんが模型を使って遺跡が時計やカレンダーとして使われていたことを説明すると、身を乗り出して聞き入っていました。

講話のあと、児童たちから「伊勢堂岱との間で交流があったのですか」「どうやって重い石をはこんだんですか」など多くの質問が出されました。

サイモンさんは「交通機関がない頃なので交流はなかったけれど、当時の人間の考え方は共通していたのかもしれない」「丸太を何本も使い、コロのようにして石を運んだのではないかなどと、一つひとつの質問に丁寧に答えていました。

交流会終了後、児童を代表して鈴木隆也君が「ストーンヘンジの目的などたくさんのお話を学んだ。同じストーンサークルの伊勢堂岱遺跡についてももっと調べてみようと思う」と、お礼のことばと感想を述べていました。

市長ダイアリー

◇11月16日～12月15日

11月16日（月）▽北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議（公立米内沢総合病院）

11月18日（水）▽米代川流域内合同危機管理演習（能代市）

11月19日（木）▽畠山義郎氏県文化功労賞受賞祝賀会（交流センター）▽綴子自治会長連絡協議会行政懇談会（綴子基幹集落センター）



▲12月定例会市議会で議員の質問に答える津谷市長

11月20日（金）▽大館能代空港利用促進協議会要望活動（東京都）

11月24日（火）▽中嶋喜代氏旭日双光章・山城京子氏瑞宝章受章祝賀会（中央公民館）

11月25日（水）▽秋田内陸縦貫鉄道株式会社臨時株主総会（阿仁庁舎）

11月27日（金）▽北秋田市上小阿仁村病院組合臨時議会（公立米内沢総合病院）▽第4回米代川水系河川整備学識者懇談会（能代市）

11月29日（日）▽掛泥自治会意見交換会（掛泥会館）▽後藤久美氏農林水産大臣表彰受賞記念祝賀会（サンシャインあいかわ）

11月30日（月）▽市議会12月定例会本会議初日（議事堂）

12月3日（木）▽市議会12月定例会本会議一般質問（議事堂）

12月4日（金）▽市議会12月定例会本会議一般質問（議事堂）

12月5日（土）▽きらきらフェスティバルパレード、点灯式（鷹ノ巣駅前、米代児童公園）

12月10日（木）▽年末年始特別警戒活動出陣式（北秋田警察署）

12月11日（金）▽市議会12月定例会本会議最終日（議事堂）▽北秋田市医療団体との業務協議会（保健センター）

12月14日（月）▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合長下処分施設浸出水処理検討委員会委嘱状交付式（中央公民館）



▲イギリスの世界遺産「ストーン・ヘンジ」の説明に聞き入る鷹巣小児童ら